

■寒冷地における Joto キソパッキング工法■

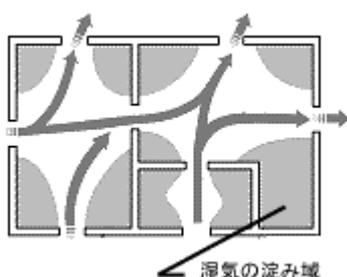
Joto キソパッキング工法が工法をオープン化した昭和 59 年当時、既に新潟県（新発田市）から石川県（小松市）にかけての寒冷地域において、相当数の施工物件が先行して実施されていた事は意外と知られていません。

更に、厳寒地域といわれている北海道では、昭和 63 年頃からツープайフォー工法を手始めに採用実施されており、最近では在来軸組工法で札幌市や旭川市（外気温度 -20°C 以下）の郊外住宅にも施工されており、その他、湿度の高い寒冷地域（東北地方全県）でも数多くの施工実績を有しております。

（合理化認定耐久性タイプ／パネル化工法改良軸組工法等、多数）

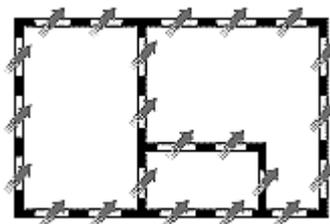
Joto キソパッキング工法は、従来の床下換気孔（スポット方式）よりも、換気措置として全周換気孔（スリット方式）による、床下の防湿・排湿機能に優れている事が特徴とされています。

従来の床下換気孔の弱点とされている床下の換気されない湿気の澱み域は、床断熱材の性能や構造木部の耐久性に悪影響を及ぼすことは周知の通りですが、逆に換気が行き届かなかったことから、それまでは余り問題にならなかった事も露呈される事となります。



●従来の工法

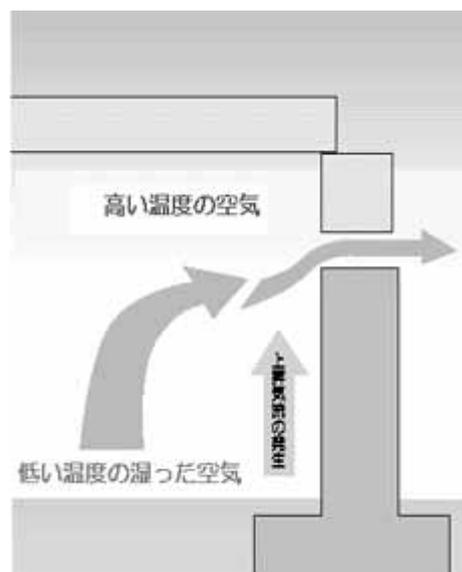
コーナー部分に湿気がこもりやすい。



●Joto キソパッキング工法の画期的な全周換気

コーナー部分もスッキリ換気。

[Joto キソパッキング工法の換気方式]



Joto キソパッキング工法が蓄積してきた寒冷地域ならではの対処策や注意すべき事柄のうちの幾つかについて、示すと次の様な点が挙げられます。

- ① 床下の給排水管の凍結防止に措置される断熱保温材の施工の確実性。
- ② 床断熱材の種類は、排湿しやすいグラスウール系が望ましい。
- ③ 浴室ユニットバスの外回りの防風透湿断熱措置が効果的。
- ④ 軸組工法の場合の中間間仕切り下部の通気止めを確実に施さなければ結露を生じる。
- ⑤ 床下空間は地熱の影響で相対湿度が高く、常に換気が確保されなければならない。

※以上の様な事柄については、Joto キソパッキング工法を未だよく御存知のない方々からの御質問にも見られる内容とも大いに関連しています。